

■ 橋梁の補修、補強計画について

急速に進む橋梁の老朽化に対し長寿命化を図るとともに大地震に備えた耐震補強を進めます

長寿命化対策

現状と課題

○県管理橋梁の高齢化が進んでいます。

県管理橋梁数 平成24年4月1日現在 3829橋	うち高齢化橋梁（建設後50年を経過） 現在 1088橋	10年後 2069橋
	高齢化率 28%	54%

取り組み内容

○計画的な修繕により寿命を延ばし、コスト削減を図ります。

管理橋梁3829橋の長寿命化修繕計画を策定しました。(H25.6~)

かけ替え予定橋梁 23橋	15年以内に修繕必要橋梁 990橋	15年より後に修繕する橋梁 2816橋
-----------------	----------------------	------------------------

かけ替え予定橋梁は計画策定時点で架替えを計画している橋梁です

修繕に必要な費用 250億円

修繕の優先順位の考え方
・桁、床版、下部工などの主要部材損傷度
・橋梁の重要度

進捗状況

概ね5年以内 点検結果による早期対応及び優先度が高い予防保全 264橋	対象橋梁	優先度 高	進捗状況 0
概ね10年以内 予防保全（概ね10年以内に予防保全が必要な橋梁）310橋	対象橋梁	優先度 中	H29末 179橋 完了
概ね15年以内 予防保全（概ね15年以内に予防保全が必要な橋梁）416橋	対象橋梁	優先度 低	990

耐震対策

現状と課題

第1ステップ（H7~H9）

○阪神淡路大震災を契機とした耐震補強の緊急対策は平成9年度までに完了しています。

管理橋梁 3829橋のうち	L=15m以上の 1507橋	について 完了
------------------	-------------------	---------

「桁かかり長」又は「落橋防止構造」のいずれかが整備完了

第2ステップ（H10~）

○緊急輸送路の信頼性を高めるため耐震補強を推進します。

対象橋梁 233橋のうち	H20.4.1現在対策済 149橋	未対策 84橋
-----------------	----------------------	------------

S55道路標示方書より前の基準により設計された橋梁について、落橋防止システム整備、橋脚補強を実施中

取り組み内容

進捗状況

5年以内（H20~H24） 第一次緊急輸送路の完了	対象橋梁 28橋
10年以内（H20~H29） 跨線橋・跨路橋の完了	対象橋梁 13橋
(H20~) 第二次緊急輸送路の完了	対象橋梁 43橋

H29末
81橋
完了

橋梁の損傷と修繕例

床版のひび割れが拡大しないように、炭素繊維シートを張ります



橋梁の耐震補強例



■ 住民参加による維持管理

ボランティア活動が広く県民に浸透してきている中、地域と連携し、住民や企業の参加による快適な道路の維持管理を進めています。

住民参加による維持管理活動状況（平成30年3月31日現在）

参加形態	活動状況
道路愛護団体	県内各地域
アダプト団体	344団体
信州ロード観察隊	507人

アダプトシステム（Adopt a Road System）

「道路の里親制度」とも呼ばれ、地域住民団体等が道路の一定区間の「里親」として、道路管理者と協定を取り交わし、ボランティアで歩道、植樹帯等の美化活動を行う制度です。地域住民等が主体的・意欲的に活動することで、道路環境の向上、ゴミ捨ての抑制などの効果や維持管理の効率化が期待されています。

道路管理者は、里親区間に看板を設置するとともに清掃用具の貸与などを行い、アダプト活動の支援をしています。



大町建設事務所管内 アダプト活動の様子

信州ロード観察隊

県民からの応募により各建設事務所が任命した隊員から、道路の穴ぼこや、落石、道路標識の不備など道路異常に関する通報をいただいています。

また、道路の維持管理に関する意見などの提言もいただいています。
(平成30年3月31日現在、507名の方に登録していただいています。)